

文書分類番号	00	09	03	002	永 年	起案	平成	年	月	日	決裁	平成	年	月	日
議 長	副議長	局 長	次 長	主 査	主 査	担 当	文書取扱主任								

第 26 回 経 済 建 設 常 任 委 員 会 会 議 録

開催年月日		平成 22 年 5 月 26 日（水曜日）		開会 15 時 31 分		閉会 16 時 46 分	
開催場所		第三委員会室					
出席委員		山木、清水、田村、山腰				事務局	田湯次長
		委員外議員～窪之内、井上					山本主査
欠席委員		中田、水口					
説明員		別紙のとおり					
議 件		別紙のとおり					
議 事 の 概 要	1. 所管からの報告事項について						
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い報告済みとした。						
	○「滝川開村 120 年記念」第 69 代横綱白鵬滝川市観光大使委嘱・モンゴル交流事業について						
	て						
	2. その他について						
	経済建設常任委員会の市内視察について、農業開発公社ほか数件の視察の実施について						
	次回の委員会で諮ることとした。						
	3. 次回委員会の日程について						
	6 月 4 日（金）10時から第三委員会室において開催することとし、案内はがきの送付は						
	省略することとした。						
	上 記 記 載 の と お り 相 違 い な い。 経済建設常任委員長 山 木 昇 印						

平成22年5月25日

滝川市議会議長 中 田 翼 様

滝川市長 田 村 弘

経済建設常任委員会への説明員の出席について

平成22年5月21日付け滝議第33号で通知のありました経済建設常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いします。

記

滝川市長の委任を受けた者

経済部長	若 山 重 樹
経済部商工観光課産業観光連携室長	阪 本 康 雅
経済部商工観光課産業観光連携室主査	前 田 昌 敏
経済部商工観光課産業観光連携室主査	諏 佐 孝
経済部商工観光課元気タウン推進室長	千 田 史 朗
経済部商工観光課元気タウン推進室次長	長 瀬 文 敬

(総務部総務課総務グループ)

第 26 回 経 済 建 設 常 任 委 員 会

H22. 5 . 26 (水) 15:30～

第 三 委 員 会 室

○開 会

○委員長挨拶（委員動静）

1. 所管からの報告事項について

《経済部》

- 「滝川開村 120 年記念」第 69 代横綱白鵬滝川市観光大使委嘱・モンゴル
交流事業について

（資料）商工観光課

2. その他について

3. 次回委員会の日程について

日時 6 月 4 日（金）10 時から

場所 第三委員会室（案内はがきの送付は省略）

○閉 会

第26回 経済建設常任委員会

H22.5.26(水)15:30

第三委員会室

開 会 15:31

委員動静報告

委員長 欠席～中田、水口。委員外議員～窪之内、井上。

委員長 経済部より説明を願う。

1. 所管からの報告事項について

「滝川開村 120 年記念」第 69 代横綱白鵬滝川市観光大使委嘱・モンゴル交流事
について

若山部長 (別紙資料に基づき説明する。)

阪本室長 (別紙資料に基づき詳細について説明する。)

委員長 説明が終わった。質疑はあるか。

田 村 観光大使委嘱事業会計収入の負担金で滝川市分 143 万円及びモンゴル調査団事業会計収入の負担金で滝川市分 137 万円と一般会計負担額の補正額 180 万円とは違うのか伺う。

阪本室長 観光大使委嘱事業会計収入の負担金とモンゴル調査団事業会計の合計では 280 万円、開村 120 年記念事業に当初予算 100 万円がついていたので、残り 180 万円の不足額を今回の補正予算に計上するところである。

委員長 他に質疑はあるか。

副委員長 ① 観光大使というのは、滝川市では初めての事業だと思うが、市としてどのような方針、目的を持ち白鵬関はどんな役割を担うのか伺う。

② 経費について、今回補正の資料を見る限りでは、市の予算だけではなく、市の予算プラス財団法人滝川市生涯学習振興会、並びに社団法人滝川国際交流協会の 2 つの団体が、ディナーそのものでお金を浮かして他の事業にこの財源を満たしているように見える。都内で物産展等をする際に、白鵬関が来ていただけるとすると、その際には必ず報償金というものが発生するだろうと想定するが、計画を持って進めているのか。それだけでは足りないということで、今後も他団体に支援をいただき、七、八千円がレセプションの上限として基本的金額に対してディナーショーという位置づけではあるが、1 万 5,000 円は安くないので、そういったものをしながら財源を満たす計画なのか、その当たりも含めて伺いたい。

阪本室長 ① 観光大使の役割について、詳細までは詰めていないが、一人横綱白鵬関という知名度の高い方に滝川市を PR していただきたく。こういう機会はめったにないことなので、何とか滝川市が一丸となって白鵬関で PR していきたいというのが私たちの考えである。白鵬関も農業技術関係の手伝いができるのであれば、私を使ってくださいと言ってくださっているので、お言葉に甘えて滝川市のさまざまな観光を含めて町のいいところを全国的に PR してイメージの増進を図っていきたい。

② 警備の関係であるが、今後の費用負担については詳細は詰めてはいないが、指摘のとおり、生涯学習振興会並びに国際交流協会のほうに協力をいただきながら事業を進めていくことになるであろうし、今後のイベントでどのくらいの経費がかかるのかは決まっていないが、モンゴル交流事業については、滝川市

	単独でできるものではなく、道、国の力添えもいただきながら進めていかなければならないことで、もう少し時間をいただきたい。
副委員長	① 横綱白鵬関はどんな役割をするのか再度伺う。 ② 名刺の話にもあったが、常に横綱白鵬関の名刺は1種類で、裏には必ず滝川市のことが書き込まれているというような契約をするのか、それとも白鵬関の自由なのか、今回この来滝とモンゴルへ視察されるイベントが終わったら、日常的にどんな役割があるのかを再度伺う。
阪本室長	① 名刺をつくって持っていて必要あるときに出示していただくことと、白鵬関に情報提供して可能な限りPRしていただけるような方策を行っていききたい。今の段階ではどこまでという話は詰めていない。基本的に観光大使にそこまで依頼するというケースは調べたところ例がないので、PRできる仕組みをつくっていきながらお願いしていききたいと思っている。
若山部長	補足説明する。PRという面では新聞報道もされて大きなものになると思う。相撲協会の絡みもあり白鵬関自身との契約で月額、年額幾らという話は全くない。東京での何かのイベントに出てもらうとかの活用方法を話していただいている。一人横綱になって相撲協会の統制が厳しくなっているという話も聞いているし、もう一人の横綱があのような状態でやめたので協会自体もシビアになっていると聞いている。私どもとしては白鵬関の横綱としての看板を生かして、滝川市も今回、スイーツなども販売するので、1企業で商品価値を高めるために写真を使うなどは相撲協会では許さないと聞いているが、観光大使就任という形でPRすることは構わないので、ネット上で就任してこんな菓子を食べたとか、市民交流の中でこんなこともしたというような全国発信できるようなところで、許される範囲でPRしていききたいと考えている。
副委員長	私もこの話のうわさを1月ころから聞いていたが、自然な流れの中でこういうことが始まったということで、とやかく言うつもりはない。今回のイベントが市民にとってモンゴルとの交流ということで、成功してくれればいいと思っているが、1日来ていただいて200万円以上の報償金と30数万円の旅費も支払うということであれば、極端な話、白鵬関でなくても契約行為で滝川市の観光大使は探せばほかにもいる中の一人だと感じた。流れの中で白鵬関というのは今回のイベントの中では賛成だが、3年間白鵬関から出費に見合った役割を引き出させることができるかは、きちんとした見込みを持ってやらないと何だったのかということになりかねないので、観光大使の役割の要綱をつくって、市民にはこういうことで予算を使うとはっきり示さないとやっていることも効果が見えてこないの、滝川市の支出と効果が見えるような形でやってもらいたいと思うが考えを伺う。
若山部長	副委員長の言うとおりでと思うのでそのようにしていきたいと思うが、契約行為で細かなところまでは観光大使というものにはなじまないと思う。現役の横綱が観光大使になるということは多分すごいことだと思う。私たちも協力していきたいし、皆さんからこういう形で白鵬関にお願いしたいことがあれば相談にも乗っていききたいと思っている。
委員長	他に質疑はあるか。
窪之内委員外議員	① 今後モンゴルとの関係をどのようにしていくかという構想を持っているのか。向こうで協力調印式を行うということになっているが、その協力とは何で、どんなものなのか。例えば、今後姉妹都市提携という目標を持ちながらやって

いくのか。農業交流で、米をモンゴルで栽培することの援助で、J Aたきかわとして技術者の派遣を定期的に行っていく意向だとか、対モンゴルとの関係では、どのような視点で取り組もうとしているのか伺う。

② ディナーショーの関係で、例えば市民優先で参加してもらったほうがいいのか、議員は市民の動向を見ながら参加を考えたほうがいいのか、率先して議員がそういうところに出ていくとなると、会場が満員になり市民が入れなくなるということもあると思うが、それは議員個人の考え方に任せるということなのか。議会としての協力は議長や副議長の調印式とは別にしても何かあるのか伺う。

若山部長

① モンゴルとの関係では、昔、津軽の車力村の村長が中心になってモンゴルで米の栽培をしたり、モンゴルからも人を呼んで技術研修をした経緯がある。このような過去のいきさつがあるが、現実としては全くできないわけではないが米文化がもともとない国で、中国や韓国、インドからの輸入が主で、日本の米と違ってパサパサした米でシチューに入れて食べることが多い。日本の米も国営デパートで売っているが高いと聞いている。年寄りのご飯を食べないらしく、肉重視らしい。今回どのようなことができるのかということで調査をしに行くわけで、将来的にどう発展していくかということをも今回の調査で見きわめなければならない。単純に見きわめられるのかといった問題もあるが、これは金銭的にも一地方自治体だけの問題ではなくなる。国の補助やJ I C Aとの協力をどうするかといった問題も探らなければならないと思う。そういう段階になると受け入れ態勢をどうするか、J Aたきかわや社団法人滝川国際交流協会と協議していきたいと話をしている。

② ディナーショーの関係では、札幌方面からのツアーや、旭川市、富良野市からの問い合わせがあり、市民が多いので議員が入れないといったことでの統制はできないという気がしている。協力に関しては、ディナーショーも皆さんに来ていただければありがたいと思っているし、いろいろな場面で協力を仰ぐと思うので、市議会の皆さんにもよろしく願いたい。

窪之内委員外議員

白鵬関自身が青少年の育成に力を入れていて、そらぷちキッズキャンプについても興味を持たれているという話もあったが、事業の中では具体的には現地を取材する日程がないと思うが、そらぷちキッズキャンプの大きな宣伝のために白鵬関に御尽力いただくということも大きなことだと思うが何か考えているのか伺う。

若山部長

14日の市内視察の中で、そらぷちキッズキャンプを訪問してもらうことになっている。もともとは12、13日の土、日曜日に事業をやる予定だったが、12日に大関把瑠都の昇進祝賀会の日程が入って、相撲協会では一人横綱がいないのはおかしいということで、どうしても13日に集中的にすることになった。14日は月曜日で前の日の13日に行く予定であれば、市内のそらぷちキッズキャンプにかかわっている子供もいるので、対面などもやろうと思っていたが、平日で学校もあることから、訪問して概要説明する日程になっている。そのときの写真を撮ってPRできるのではないかなと思う。

委員長

他に質疑はあるか。

井上委員外議員

全勝優勝した白鵬関が来るということは、久しぶりに滝川における明るいニュースで、どこに行っても白鵬関が観光大使になったということで我々にもすごい反響が来ている。非常にいいことなので大いにやってほしい。モンゴルとい

う国は我々もよくわからないのだが、課題の多い国のようで、日本とモンゴル、北海道とモンゴルなど、いろいろな協会があるのではないと思うが、白鵬との関係はわかるが、そちらのほうの北海道とのつながりがどうなっているのかわかれば教えてほしい。

若山部長

先般 18 日に東京滝川会の役員会があったときにこの話をしたところ、胸を張って滝川市の名前を出せる事業だと言われた。少しでも滝川市のよいイメージでの PR になればと思っている。モンゴルの NGO, NPO は相当数日本からも入っているようで、北海道はまだ少ない感じがすると聞いている。確かめたわけではないが九州方面からは相当入っていると JANIC の人からは聞いている。札幌にモンゴルの総領事館があり民間の人もいると聞いているので、挨拶に行かなければならないと思っている。モンゴル大使館にも 2 度ほど訪問させてもらって、いろいろと内容を聞かせてもらっているが、大使館側も是非モンゴル自体も交流できればいいという話をしている。十分連携を取りながらやっていきたいと思っている。

井上委員外議員
委員長
副委員長

北海道や各種協会との連携の中で盛り上げていってほしい。
他に質疑はあるか。

① スプリングフィールド市もあり、マラウイ共和国もあり、国内では栃木市、名護市の 2 つがあり、さらに広げるとなるとどうなるのかと思っている。6 月の上旬、1 週間後には協力調印式がされる。この協力調印式で渡される文書が今あれば示していただきたい。

② JA たきかわからも 5 人くらい技術者が行くということだが、こういった費用について JA たきかわの独自事業ということなのか、市が責任をもって今回の国際交流に補助した 2,000 万円がこれに使われるということなのかについて考え方を伺う。

若山部長

① 調印の中身としては、友好交流宣言ということで、農業であるとか経済であるとか、青少年の交流を促進していくという内容で、友好親善で経費がすぐかかるというものではない。

② 技術者 5 人が行くというのは初耳である。JA たきかわや国際交流協会なり、行政の役割の中で考えていかなければならないと思っている。

副委員長

これから始まることについて先のことをいろいろ言うのは、モンゴルという国について私はよくは知らないが、経済的にはかなり厳しい国で、ソ連が崩壊してソ連の中のような国だったのが、ソ連との付き合いがなくなって、独自に切り開いていかなければならなくなったわけで、モンゴルという国が日本をどう見ているかという、応援してくれるということで、モンゴルがお金を出して日本人を招くということの考えは恐らく持っていない。この時点で少年野球だとかの話が出てくれば、必ず経費がかかる話で、ある程度見込みを持っていないと、期待はずれに終わらせてしまうのも失礼な話で、中国や韓国、ベトナムとつき合うよりももっとこちらが全部出してやるという感じで受けとめているのではないと思うので心配している。少年野球について費用はどう考えているのか伺う。

若山部長

今回の調査の中でその辺もはっきりできるのかと思う。白鵬関が野球は面白いのでどのようにできるかという問題と、野球でよいのかということもある。野球の経費をだれがどうするかといったことについては、行政として何ができるのか細かく分析しないと、こちらが持つとは今は言えない段階である。

委員長
山 腰

他に質疑はあるか。

① この事業を紹介していただいた出村氏について説明してもらいたい。
② だれが考えてもいい事業だと思う。降ってわいてこんなにありがたい話はないと思う。どこの市町村でもみんな望むところだと思う。経済感覚でいうと、タレントが観光大使になっているところはたくさんあると思うが、経済的な観点から見れば、何百万円の予算だが何千万円もの値があると思う。ただ、副委員長が言われたように、今後の問題で、花火だけ上げて3年間で静かに終わってしまうのでは何にもならない。これを機会にどうやるかということで、1回行けば旅費が180万円もかかる。2回目は自費にしたならばだれも行かないと思う。このディナーショーの入場券の1万5,000円にしてもファンであれば3万円でも行くと思う。今回は皆買ってくれると思うツアーも来ると思うが、3年間の契約で白鵬関という最高の広告塔を得たわけだから、この3年間で集中したことをしなければ、ダラダラしていたら自然消滅してしまう。せっかくのチャンスで、相撲協会を経由してコマーシャル等をしたなら相当な金額になると思う。関係者だけでごそごそと花火を上げて終わらすのであれば、何だったのかということになる。国際交流云々なんて先々の話で、当面生かす方法を考えなければならない。変に思われても困る。人というのは疑うもので、出村氏は白鵬関との交流もあって地域経済にも詳しい人だということは知っているが、その方が滝川に白鵬関を連れてきたのなら出村氏に何百万円か渡っているのではという話が出てくる。その辺をきちんとオープンにしなければならないと思うがどう考えているのか伺う。

若山部長

① 出村氏との経緯は空知支庁主催の食の祭典で、滝川市に来られて丸加高原等を紹介してくださったのが最初と聞いている。職業は、三井観光開発(株)を始めとして、札幌グランドホテル、札幌パークホテルマーケティング室長等をされた方で、札幌国際大学観光学部講師、北海道庁の北海道観光のくにづくり推進協議会グループリーダー。今は独立してプランナーやコンサルタント業をしながら東京の拓殖大学外国語学部の非常勤講師もされている。年齢は51歳である。

② 横綱を招いたら何百万では済まないだろうと言われている。ディナーショーにしても東京の感覚では三、四万円の世界で、札幌でも2万円は下らない。どうして1万5,000円なのと言われた。滝川市のことを考えると1万5,000円が限度でそれも土産つきでということになった。横綱が1度滝川市に来たらディナーショーだけで帰るのが普通で、市民交流やトークイベントをしてということはずないと言われている。2日間の日程を1日で行うことにしたということでこうなったのでもあるが、このように進めているということを理解願いたい。今後の問題として、1年に1回は地元に来てもらわなければと話している。そのたびにディナーショーができるのかどうかということも考えている。滝川に来たのであれば市民との交流ということを進めたいと思うし、対外的には広告塔として、新聞で全国紙に取り上げてもらったり、テレビもHTBで10分以上特集を組んでももらったりしているので、そんな形で滝川を宣伝したいと思っている。東京でも白鵬関自身が観光大使になったとか、お米の関係でモンゴルに行ってきたとか、調印式をしたとかの情報を公開したいようで、記者会見で発表するのではないかとされている。具体的に何をやるかということを経験されても、今はわからないがよろしく願いたい。

山 腰	白鵬関は今の自分の立場を最大限広告として使ってください、しかしその見返りとしてはモンゴルを助けてくださいということだと思う。それは当然で、そうでなければもっとギャンをくださいということになる。私の立場を十分滝川市さん使ってください。しかしモンゴルは今、子供たちは野球も知らない状況なので交流をしてモンゴルを助けて下さいということだと思う。それをわきまえていけば今後金を出すと言っても市民は文句を言わないと思う。与えてもらったのだからモンゴルに返してやればいいことだと思う。白鵬関に返すわけにはいかないのだから、そういう観点で物事を進めていったらいいと思う。
委 員 長	他に質疑はあるか。
副委員長	先ほどの質問で調印式の文章ができ上がっているのであれば提出願いたいと言ったのだができていないのか伺う。
若山部長	先ほどの答弁の内容で調印文書を仕上げたいと思う。まだ正式に文書になっていない。
副委員長	さきの私の質問も山腰委員の質問と同じで、要はギブアンドテイクで、モンゴルに滝川市や日本がどう引っ張っていくのかという話で、この調印式でいろいろな約束で期待を与えてしまうと、後で滝川市が実行できないでいると倍になって返ってくる。滝川市は恩をあだで返したと言われる。山腰委員はモンゴルを支援することに市民は文句を言わないと言うけれど、私は違うと思う。モンゴルに応援するお金があったら滝川市民は、日本一雇用が悪く困っているわけで、道民所得などは全国の7割しかないわけで、今後、そういうお金が発生するようなことの見通しを考えてつき合いをしないと、後で大変なことになるということを私は言いたかった。お金を出す気がないのならそういうレベルの話だとはっきり言わなければならないし、少年野球団を招くのであれば、それだけで幾らかかるかわからないが、必ずそれはギブアンドテイクで滝川市は負担しなければならない。それをボランティアや各団体にとということにはならないと思うがいかがか。
若山部長	その辺は気をつけてやっていきたい。お金の出し方の面では山腰委員と副委員長では根本的に少し意味が違うのかとは思いますが、今回の交流宣言の文案の中にどちらがどう負担するかということにはならないし、向こうから来るお金までこちらでどうするというにはならないと話している。ギブアンドテイクは五分五分の考えで、そうはなりづらいのかと思う。7対3になるのか6対4になるのかかわからないが、その時点で行政としてやるべきことは行政としてやらなければならないと踏まえなければならない。副委員長の言っていることもわかるが経済が自由経済になった段階で、これから基礎固めをしなければならないところで、どうしても日本ということを見ると悪く言えばたかってくる人たちがいるということも聞いている。私たちが今交流宣言しようとしているのはウランバートルという首都で、首都という観点も考えなければならないと思っている。これから何も出ないよという話はできないが、いろいろ考えておつき合いしていかなければならないと思っている。
委 員 長	他に質疑はあるか。
窪之内委員外議員	13日と14日の白鵬関が来滝され観光大使に委嘱されるこの機会を大きく宣伝するには、マスコミの全国版で特集を組んでもらうとか、テレビカメラに入ってもらおうとかの案内をしているのか伺う。
阪本室長	マスコミの関係であるが、広報広聴室で道庁に問い合わせる全国のマスコミ関

係のリストを貰って案内する予定でいる。事前にスポーツ新聞各社から何度も電話が入っていて注目度は高いと思うし、報道関係もかなり来られるのではないかと期待している。きょうもモンゴルからファックスが入り、国営放送がモンゴルで流す番組の取材に来たいと話があった。

委員長

他に質疑はあるか。(なし) この件について報告済みとする。

2. その他について

委員長

その他について何かあるか。

副委員長

経済建設常任委員会市内視察として、農業開発公社の見学をしたいと考えているが、期日は第3回定例会の前の8月末ころはいかがか。お諮り願う。

委員長

何か質疑はあるか。

山 腰

きょうは委員が2人欠席しているので、次回の委員会で諮ってはどうか。

委員長

休憩する。

休 憩 16:43

再 開 16:45

委員長

休憩前に引き続き会議を再開する。

視察件数は何件か選択し、次回の委員会で諮るものとする事としてよいか。(よし)そのように決定した。

委員長

他に委員から何かあるか。(なし) 事務局からあるか。(なし)

3. 次回委員会の日程について

委員長

次回委員会は、6月4日金曜日、午前10時、第三委員会室において行うこととしてよいか。(よし)

以上をもって、第26回経済建設常任委員会を閉会する。

閉 会 16:46